授 業 科 目 名	教育相談の基礎(Foundation o	f Educational Cou	nseling)		
 科	9801511	授 業 形 態	講義		
単位数	1 単位	標準履修年次	3 年次		
実施学期	春C	曜時限	集中		
対象学群・学類		- 124 124			
担当教員(連絡先)	佐藤 有耕(人間系学系棟 A344 yuhko	ohst@human.tsukuba.ac.i	p)		
オフィスアワー			,		
授業の到達目標					
	(2)適応・不適応の概念を理解し、学校での子どもの適応について具体的に説明できる。 (3)心理アセスメントの理論的背景を理解し、心理テストの種類と活用法について説明できる。 (4)カウンセリングと様々な心理的支援法を理解し、活用法について具体的に説明できる。				
授業の概要	教育相談の基盤となる生徒理解の意義を踏まえた上で、心理・社会的な適応・不適応の概念、心理アセスメントの理論的背景と具体的方法、カウンセリング、行動療法、グループ・アプローチなど教育相談でしばしば用いられる諸技法の理論と実際について講義する。				
授 業 計 画	第1回:生徒理解の理論				
	第2回:適応・不適応とは?心理的適応,		ストレスの概念		
	第3回:心理アセスメントの理論と方法 1		- FIR (
	第4回:心理アセスメントの理論と方法 2		[問紙法		
	第5回:カウンセリングの理論と技法 1 カウンセリングの理論 第6回:カウンセリングの理論と技法 2 カウンセラーの態度条件				
	第7回:カウンセリングの理論と技法 3 カウンセリングの諸技法 第8回:様々な心理的支援法1 行動療法的アプローチなど				
	第9回:様々な心理的支援法 2 グループ				
	第10回:様々な心理的支援法 3 予防教		チ		
	定期試験				
成績評価方法	試験と提出課題の成績により総合的に評価する。				
テキスト					
参 考 文 献	文部科学省(2010)『生徒指導提要』教育	図書			
	西川隆蔵(2014).『教育相談基礎論』関西学院大学出版会				
	石隈利紀・庄司一子(編著)(2014)『生徒指導とカウンセリング』協同出版				
	庄司一子(監修)(2015)『事例から学ぶ児童・生徒への指導と援助』ナカニシヤ出版				
	桑原知子(1990)『教室で生かすカウンセ!		- 1		
授業外における	講義の中で適宜,提出課題を出します。調				
学習方法	考えてもらいます。特別な予習の必要は		221		
平津尚上1-41-1	に自分で考え、それをレポートするという賞				
受講学生に望むこと	話を聞く、考える、書く、調べる、話し合う、 す。その一環として、教育相談に関連する				
	9。その一環として、教育相談に関連する の回答協力を依頼することがあります(強)				
	旧課程の生徒指導・教育相談Ⅱに対応。	··· ·································	IMM / 3 / 0		
иа "7	1・2 年生は履修できません。				
	- 1 - 10/18/19 (0 0 0 0 0				

授 業 科 目 名	教育相談の基礎(Foundation of Educational Counseling)
 科 目 番 号	9801521 授業形態講義
	1単位 標準履修年次3年次
実 施 学 期	春 AB 曜 時 限 火曜·5 時限
対 象 学 群・学 類	
担当教員(連絡先)	 沢宮 容子
オフィスアワー	
授業の到達目標	
	(2)適応・不適応の概念を理解し,学校での子どもの適応について具体的に説明できる。
	(3)心理アセスメントの理論的背景を理解し、心理テストの種類と活用法について説明できる。
	(4)カウンセリングと様々な心理的支援法を理解し、活用法について具体的に説明できる。
1-2	
授業の概要	教育相談の基盤となる生徒理解の意義を踏まえた上で、心理・社会的な適応・不適応の概
	│ 念, 心理アセスメントの理論的背景と具体的方法, カウンセリング, 行動療法, グループ・アプ │ ローチなど教育相談でしばしば用いられる諸技法の理論と実際について講義する。
	一
授業計画	第1回: 生徒理解の理論
	**・□・エ **・□・エ **・□・エ **・□・エ **・□・エ **・□・エ **・
	第3回:心理アセスメントの理論と方法 1 心理検査法とは何か?
	第4回:心理アセスメントの理論と方法2 投影法,作業検査法,質問紙法
	第5回:カウンセリングの理論と技法 1 カウンセリングの理論
	第6回:カウンセリングの理論と技法2 カウンセラーの態度条件
	第7回:カウンセリングの理論と技法 3 カウンセリングの諸技法
	│ 第8回:様々な心理的支援法1 行動療法的アプローチなど │ 第9回:様々な心理的支援法2 グループ・アプローチなど
	第9回:様々な心理的支援法2 アループ・アプローデなと 第10回:様々な心理的支援法3 予防教育などその他のアプローチ
	MICH. IN CO.D. TRIME OF THE PARTY OF THE PAR
 成 績 評 価 方 法	授業中に実施する小テスト、レポート等により、到達目標の基準に照
	らして成績評価を行う。
テキスト	
参 考 文 献	文部科学省(2010)『生徒指導提要』教育図書
	西川隆蔵(2014).『教育相談基礎論』関西学院大学出版会
	石隈利紀・庄司一子(編著)(2014)『生徒指導とカウンセリング』協同出版
	庄司一子(監修)(2015)『事例から学ぶ児童・生徒への指導と援助』ナカニシヤ出版
授業外における	桑原知子(1990)『教室で生かすカウンセリング・マインド』日本評論社
学 習 方 法	┃ ┃事前に次回の学習範囲を予習し、関連する文献を調べて読み込むこと。
	毎回設定される課題と、レポート等に取り組むこと。
□ =# ₩ L _ +B L _	
受講学生に望むこと	 積 極 的 な 受 講 態 度 を の ぞ み ま す 。
備考	旧課程の生徒指導・教育相談Ⅱに対応。
	1・2 年生は履修できません。

授 業 科 目 名	教育相談の基礎(Foundation o	of Educational Cou	nseling)		
科 目 番 号	9801541	授 業 形 態	講義		
単 位 数	1 単位	標準履修年次	3 年次		
実施学期	春 AB	曜時限	火曜・6 時限		
対象学群・学類					
担当教員(連絡先)	沢宮 容子				
オフィスアワー					
授業の到達目標	(1)生徒理解の意義を説明できる。				
	(2)適応・不適応の概念を理解し,学校での子どもの適応について具体的に説明できる。				
	(3)心理アセスメントの理論的背景を理解	(3)心理アセスメントの理論的背景を理解し、心理テストの種類と活用法について説明できる。			
	(4)カウンセリングと様々な心理的支援法を理解し、活用法について具体的に説明できる。				
	┃ ┃教育相談の基盤となる生徒理解の意義		 社会的な適応・不適応の概		
	念, 心理アセスメントの理論的背景と具体的方法, カウンセリング, 行動療法, グループ・アブ				
	ローチなど教育相談でしばしば用いられる	る諸技法の理論と実際に	ついて講義する。		
授 業 計 画	第1回:生徒理解の理論				
	第2回:適応・不適応とは?心理的適応,		ストレスの概念		
	第3回:心理アセスメントの理論と方法 1		: 88 64 54		
	│第4回:心理アセスメントの理論と方法 2 │第5回:カウンセリングの理論と技法 1 カ		[向		
	第5回:カウンセリングの理論と技法 2 カ 第6回:カウンセリングの理論と技法 2 カ				
	37回:カウンセリングの理論と技法3 カ				
	 第8回:様々な心理的支援法1 行動療法				
	第9回:様々な心理的支援法 2 グルーフ	゚・アプローチなど			
	第10回:様々な心理的支援法3 予防教育などその他のアプローチ				
成 績 評 価 方 法					
	授業中に実施する小テスト、レポート等により、到達目標の基準に照らし				
	│ て成 績 評 価 を行う。 │				
テ キ ス ト					
参 考 文 献 	文部科学省(2010)『生徒指導提要』教育図書 西川隆蔵(2014). 『教育相談基礎論』関西学院大学出版会 石隈利紀・庄司一子(編著)(2014)『生徒指導とカウンセリング』協同出版 庄司一子(監修)(2015)『事例から学ぶ児童・生徒への指導と援助』ナカニシヤ出版				
	桑原知子(1990)『教室で生かすカウンセ				
授業外における					
学 習 方 法			べて読み込むこと。		
	毎回設定される課題と、レポート等	に取り組むこと。			
受講学生に望むこと					
	積極的な受講態度をのぞみます。				
備考	旧課程の生徒指導・教育相談 Ⅱに対応。				
	1・2 年生は履修できません。				

授業科目名	教育相談の基礎(Foundation of Educational Counseling)				
科目番号	9801551 授業形態講義				
単 位 数	1 単位 標 準 履 修 年 次 3 年次				
実施学期	春 C 曜 時 限 月曜·5、6 時限				
対象学群・学類					
担当教員(連絡先)	│				
オフィスアワー	火曜日 11 時 40 分~12 時 00 分				
授業の到達目標	(1)生徒理解の意義を説明できる。				
及来の封廷占保	(1)至促生解の息報を説明できる。 (2)適応・不適応の概念を理解し,学校での子どもの適応について具体的に説明できる。				
	(3)心理アセスメントの理論的背景を理解し、心理テストの種類と活用法について説明できる。				
	(4)カウンセリングと様々な心理的支援法を理解し,活用法について具体的に説明できる。				
授 業 の 概 要	教育相談の基盤となる生徒理解の意義を踏まえた上で、心理・社会的な適応・不適応の概				
	念, 心理アセスメントの理論的背景と具体的方法, カウンセリング, 行動療法, グループ・アプ				
	ローチなど教育相談でしばしば用いられる諸技法の理論と実際について講義する。				
授 業 計 画	第1回:生徒理解の理論				
	第2回:適応・不適応とは?心理的適応, 適応機制, 不適応, 学校ストレスの概念				
	第3回:心理アセスメントの理論と方法 1 心理検査法とは何か?				
	第4回:心理アセスメントの理論と方法 2 投影法,作業検査法,質問紙法				
	第5回:カウンセリングの理論と技法 1 カウンセリングの理論				
	第6回:カウンセリングの理論と技法 2 カウンセラーの態度条件				
	第7回:カウンセリングの理論と技法 3 カウンセリングの諸技法 第8回:様々な心理的支援法 1 行動療法的マプローチなど				
	第8回:様々な心理的支援法1 行動療法的アプローチなど 第9回:様々な心理的支援法2 グループ・アプローチなど				
	第9回:様々な心理的支援法 2 ラルーフ・アプローデなど 第10回:様々な心理的支援法 3 予防教育などその他のアプローチ				
	定期試験				
	* 2020 年度に限り、期末試験を行うために、以下のとおり10回分の授業時間を確保し教育				
	の質の実質化を図ります。すなわち、(月曜 5·6 限)+(16:30-16:45)×5週=計10+1回分とし				
	て, 75 分1回分の授業を 15 分×5で確保し, 春C5週の中で全10 回分の授業時間及び期末				
	試験を実施します。最終日の 16:45-18:00 の範囲内で期末試験を行います。				
成績評価方法	試験と提出課題の成績により総合的に評価する。 				
テ キ ス ト					
\$ * + +					
参	大部科学省(2010)『生徒指導提要』教育図書 西川降蔵(2014)、『教育相談基礎論』関西学院大学出版会				
	台川性風(2014): 『教育相談金旋論』 関ロデルステロ版会 石隈利紀・庄司一子(編著)(2014)『生徒指導とカウンセリング』協同出版				
	庄司一子(監修)(2015)『事例から学ぶ児童・生徒への指導と援助』ナカニシヤ出版				
	桑原知子(1990)『教室で生かすカウンセリング・マインド』日本評論社				
授業外における	毎回の講義の最後に,提出課題を出します。課題に取り組むことで,教育相談について自分				
学 習 方 法	なりに考えてもらいます。特別な予習の必要はありませんが, 講義内容を良く聞いて, 講義時				
	間外に自分で考え,それをレポートするという学習を行ってもらうことになります。				
受講学生に望むこと	話を聞く、考える、書く、調べる、話し合う、などの多様な手段による積極的な学びを期待しま				
	す。その一環として、教育相談に関連する心理学の研究を経験するために、質問紙調査等へ				
	の回答協力を依頼することがあります(強制ではありません。回答への協力は自由です)。				
 備 考	旧課程の生徒指導・教育相談Ⅱに対応。				
	1・2 年生は履修できません。				

授業科目	名	教育相談の基礎(Foundation of	f E	du	cat	ion	al (Cou	nseling)
科 目 番	号	9801561	授		業	形	<u> </u>	態	講義
単 位	数	1 単位	標	準	履	修	年	次	3 年次
実 施 学	期	秋 C		曜	B	ŧ	限		火曜 5•6 限
対象学群・学	類								
担当教員(連絡会	先)	青木 佐奈枝							
オフィスアワ	_	木曜日昼休み							
授業の到達目	標	(1)生徒理解の意義を説明できる。 (2)適応・不適応の概念を理解し、学校での子どもの適応について具体的に説明できる。 (3)心理アセスメントの理論的背景を理解し、心理テストの種類と活用法について説明できる。 (4)カウンセリングと様々な心理的支援法を理解し、活用法について具体的に説明できる。							
授業の概	要	教育相談の基盤となる生徒理解の意義を踏まえた上で、心理・社会的な適応・不適応の概念、心理アセスメントの理論的背景と具体的方法、カウンセリング、行動療法、グループ・アプローチなど教育相談でしばしば用いられる諸技法の理論と実際について講義する。							
授業計	画	第1回:生徒理解の理論 第2回:適応・不適応とは?心理的適応, 第3回:心理アセスメントの理論と方法 1 / 第4回:心理アセスメントの理論と方法 2 / 第5回:カウンセリングの理論と技法 1 カ 第6回:カウンセリングの理論と技法 2 カ 第7回:カウンセリングの理論と技法 3 カ 第8回:様々な心理的支援法 1 行動療法 第9回:様々な心理的支援法 2 グループ・ 第10回:様々な心理的支援法 3 予防教育 定期試験	一心投力力力的ア	検法セセセプロ	査作・リングローチ	とは検の態がみな	何 査 理 度 諸 ど	か? 去, 質 ・ 件 法	订問紙法
成績評価方	法	試験を実施。試験と提出課題の成績により	J総1	合的	りに言	平価	する) _o	
テキス	٢	教育相談(MINERVA はじめて学ぶ教職 1	16)	ミネ	ジルノ	・書	房		
参考文	献	文部科学省(2010)『生徒指導提要』教育図書 石隈利紀・庄司一子(編著)(2014)『生徒指導とカウンセリング』協同出版 庄司一子(監修)(2015)『事例から学ぶ児童・生徒への指導と援助』ナカニシヤ出版 桑原知子(1990)『教室で生かすカウンセリング・マインド』日本評論社							
授業外におけ									
学 習 方	法								
受講学生に望むる	٤_	グループ討議などには積極的に関与・発言						L	- 1
1#		授業についての説明があるため、初回の担保課品の生体を達みを担談する。	党業	121	ま必	ず出	席	するこ	ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ
備	考	旧課程の生徒指導・教育相談Ⅱに対応。							
		1・2 年生は履修できません。							